

鈴木市議辞職 補選はなし

伊豆市長選

伊豆市長選(12日告示、19日投票)への立候補を表明している鈴木正人氏(53)と青羽根は2日、市議の辞職願を三田忠男議長に提出した。三田議長は辞職を許可することも、市選挙管理委員会

へ通知した。同委員会によると、告示日の前10日以内のため、市長選と同時の市議補欠選挙は行わない。

鈴木氏は「1期目の新人議員ながら、先輩議員たちに教えてもらい、3年半務めた。今後市民と共に歩む議会にしてほしい」と述べ辞表を提出。三田議長は「もっと一緒にや

りたかったが、高みを目指し頑張った。市長選は政策論争を」と期待した。

市長選は、現職の菊地豊氏(61)と本柿木が出馬を表明し、元会

社社長の山田克夫氏(76)と熊坂も立候補の意向を示している。

「商工業者は存亡の危機」

函南町商工会

新型コロナ 感染拡大 町に緊急支援要望

新型コロナウイルス町商工会(八木戸一重は2日、町役場を訪れ、感染拡大を受け、函南会長、会員820人)仁科喜母志町長に町内

の商工業者への支援を求める「緊急要望書」を手渡した。八木戸会長は「町内商工業者は資金繰りの悪化や壊滅的な売り上げ減少に悲鳴を上げ、存亡の危機にある。町内商工業者

のリスク回避と安定した経営が持続的に営める支援策をお願いしたい」と述べた。

要望は①県の新型コロナウイルス対策緊急金融支援の制度融資を利用した事業者に対し、県の利子補給分に上乗せする町単独の利子補給制度を創設し、3年間実質無利子となる措置と財源確保②住宅リフォーム助成の助成枠の拡大③町民生活支援および町内商工業者の売り上げ支援策として、町独自のプレミアム商品券の発行や地域振興券の給付の検討の3項目。

仁科町長は「現状を重く受け止めている。スピード感を持って対応していく」と答えた。函南町議会にも「緊急要望書」を提出した。